

★ サクラサク 合格作文 ★

Vol.10

2023年入試において、合格された方の作文を掲載しています。

久田 温人くん (洲本高校 卒業)

青山学院大学	理工学部	合格
法政大学	生命科学部	合格
関西大学	化学生命工学部	合格
近畿大学	薬学部・理工学部	合格

僕は、この作文で後輩の皆さんに伝えたいことが3つあります。

まず「誰かにすぐに相談する」ということです。これから志望校を決めたり、勉強方法だったり、成績の伸び悩みだったり、悩むことがたくさんあると思います。そんな時に相談できる人をしっかりと見つけてください。僕自身、もともと国立志望で、私立本命に変える時はとても悩みました。明光の先生に夜遅くまで相談して、日付が変わってしまうまで塾にいた日もたくさんありました。夜遅くまで付き合ってくれた明光の先生にはとても感謝しています。

2つ目は「得意科目を極める」ということです。僕は化学が得意で青学の試験では9割、近大薬学部の試験では満点を取りました。反対に、数学があまり得意ではなく、本番も思うような点が取れませんでした。しかし、化学でしっかりとカバーし、合格することができました。すべての入試で正直化学に救われました。皆さんも“救われる科目”をしっかりと作っておくことで入試ではかなりの武器になると思います。

3つ目は「本質を理解する」ということです。このことは明光の先生に言われ身についた力で、簡単に言うなら「丸暗記しない」ということです。これはすべての科目において言えることで、答えを導くときになぜその手順をするのか。どういう理由や理屈で、をクリティカルシンキングすることで断然理解しやすいし、頭に残りやすいです。僕はこのことを意識するようになってから、成績がとても伸びました。

学び方から教えてくださった明光の先生方、一緒に協力し合った自習室メンバー、そして、経済的にも精神的にもサポートしてくれた両親、みんなに感謝して東京でがんばってきます！！ありがとうございました。

清水 菜月さん (東浦中学校 卒業)

洲本高校	総合探究類型	合格
神戸野田高校	特進アドバンス	合格

私は、中学3年生の春に入塾しました。その頃は、勉強への向き合い方が分からなかったりと、つまり、勉強嫌いの人間でした。そこで、明光義塾に入塾しました。

明光義塾に足を踏み入れた瞬間、空気が一変し、また他の生徒を見てみると、熱心に勉強に励んでおり、まさに勉強こそが一種の食べ物のように感じさせられました。私は、これが本当の現実かと思いました。その日から、私は明光義塾にて勉強をしました。すると、前の自分とは変化し、点数はみるみると向上し、そして勉強に対して、しっかりと向き合うようになりました。その中で、私はもっともっと自分を成長させたい、自分が入りたい高校へ行きたいと思うようになりました。私は、中学1年生の頃から洲本高校へ行きたいと思うようになりました。ですが、学校の先生からは難しいと言われてたりもしました。でも、私は諦めない、絶対に合格するという気でいました。私は、この言葉を胸に勉強に励みました。明光義塾の先生方が応援してくださって、もっともっと頑張ろうと思いました。結果は無事、合格することができました。涙が出そうになりました。とある人が言っていた「努力は必ず実る」というのは本当なんだと実感しました。

人生の中で、勉強はずっと付いてくる存在です。この勉強にどう立ち向かうか、対策するかで、人生が180度変わると思うと、大切さがより一層、感じられます。私は、本当に感謝しています。両親に、学校の先生、明光義塾の先生方に。本当に、有難うございました。

個人情報の扱いについてはご本人の了解を得た上で掲載しております。また文章内容は、オリジナリティを損なわない程度に修正等をしている場合があります。

合格おめでとうございます。

君たちの将来に幸多からんことを心よりお祈り申し上げます。

